



まだ3月ですが、桜が咲き始めています！忙しくても少しでも見てあげてくださいね！

Popoki's Hot News!



新にゃん歓迎ポー会&ワークショップ！

ポー会は、4月になると新にゃんたちを迎える季節になります。4月26日のポー会では、ポーポキの紹介を参加型でします。古にゃんたちもちろんOKです。お待ちしております！



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちの有パンにゃんから届いた平和：

「最近、平和を感じることもある。でも、その平和は特に素晴らしいとも美しいとも思えるものではなくて。それでも、周りのひとにもそんな平和を届けたいと思う。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



New! 東梅洋子 『うねり』 発行！

ポーポキの友人、東梅洋子さんが「うねり」という新しい詩集を発行しました。興味ある方は株式会社コールサック社 <http://www.coal-sack.com> ¥1000 (ポーポキ通信 89 号のインタビューを参照ください！)



いつもご協力、ありがとうございます！

「ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」(エピック 2012)はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいです！

* 神戸 YMCA でも販売していますよ！

本については、<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。

見つける

感じる

神戸ゆかりの美術館で



考える

美術を 楽しもう!

にちじ
日時

2013年（平成25年）3月7日（木）

てんじないよう
展示内容

企画展示「BLUE ブルー」
—神戸の抽象画 新収蔵・中右瑛 西村元三郎を中心に—
ポー会美術鑑賞会

今日の目的

- ・ ゆかりの美術館作品で、対話型美術鑑賞を体験する。
- ・ これからポーポキ友情物語の作品たちをいろんな人に鑑賞してもらう事で、新しい物語がうまれる可能性を探る。

絵を見てお話しよう



じっくり絵を見よう。お友達とお話ししながら見ると、新しい発見があるよ。

ここに黒い鳥がいる様にみえるよ

空が少し明るいから
夕方5時頃か



小松益喜〈雪の北野坂〉を見

絵の中に入る事ができたら、何をしたい？
この雪の坂をおしりですべりたい！
でも、おしりが痛くなっちゃうかもね！でも、すごく楽しそう！

この眺めが好きな老夫婦がこの家にはずっと静かに住んでいそうだね。

木製の船の底の形みたい。

木でできたブロックみたい！

エリンギのキノコみたいだよ。



西村元三朗〈母港〉を見

木や石膏でできている様にも見えるし、もっと柔らかい素材で出来ている様にも見える

数字の7が横になって

階段と橋みたいに見えるね。

〈ポーポキ友情物語〉を見てお話しよう



〈ポーポキ友情物語〉を見ながら話をしていると、いろいろなポイントで絵がみえてきました。

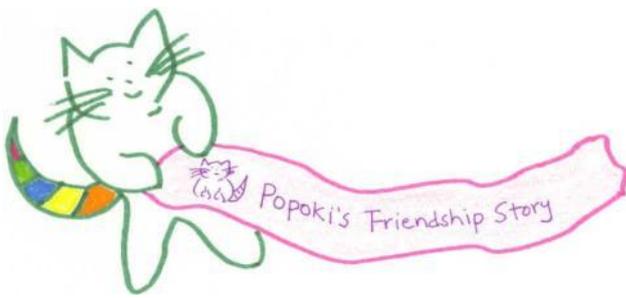
まとめ

作品を見る人によって、関心をもつポイントが違うことがわかったよ。
皆で絵を見ながら話をする、見えなかったものや事柄が見えてくるね。
作品は、いろんな人に鑑賞してもらうことで、新しい物語や価値を持つ事ができるね。

鑑賞会ファシリテーター及び報告者
神戸大学大学院人間発達環境学研究科講師

てしがわらきみえ
勅使河原君江





～東北からのメッセージ～その1

インタビュー:道又衛先生 (M)

インタビュアー:西山朗 (N)

道又衛先生は、大槌町で生まれ育った小児科医の先生です。阪神タイガースの大ファンです。先生のクリニックはピンク色に染まっており、可愛らしい玩具がたくさん置いてあってとても居心地がよくなる場所です。



N.「先生は震災当時、どこで何をしていましたか？」

M.「当時は自宅のベッドで寝ていましたが、その部屋が津波の影響で浸水してきました。天井まで10cm位というところまで水でベッドが押し上げられて、その上に寝ていましたが、死ぬとは思いませんでした。」

N.「その後はどうなされましたか？」

M.「人々の救援活動に専念しました。大槌町で活動していた医療関係者は、ほぼ全員町に残りました。自分たちの町は自分たちで再建するぞ！という気持ちが強かったみたいです。」

N.「新しく建てたクリニックをピンク色にしたのは何故ですか？」

M.「ピンクは人を明るく、元気にさせる色だからです。震災で希望や元気を失ってしまった人々に、少しでも元気を与えることができたなら良いなと願いをこめて、ピンク色にしました。」

N.「今回の震災を通して、何かメッセージや特に強く思うことはありますか？」

M.「震災で失ったものも多いが、得たこと、また気付いたこともたくさんあります。その中でも特に強く印象に残ったことは、“人と人とのつながり”です。震災でみんながそれぞれ困っている中お互いを助け合う姿を見て、やはり“つながり”が本当に大事なのだと思いました。また、災害対策の迅速さや質の高さにも驚きました。例えば、仮設住宅に備え付けられた家具を注意深く見てみると、それらはそこに住む家族の構成に合わせて選ばれています。そのような日本人の意識が素晴らしいと思いました。」





～東北からのメッセージ～その2

またまたこんにちは～!!!

ポーポキのお友達のユウスケにゃんが、またまた大槌町のポーポキのお友達をインタビューしてきました～～～!!!

今回は、お医者さんの植田 俊郎先生です!!!

植田先生は、大槌町生まれで、この土地によって育てられました。元々、お家兼診療所である先生の病院は大槌町の中心地にありました。先生は、初めはお医者さんになるのが嫌だったそうです。しかし、それ以上にサラリーマンが嫌だったようで、そして植田先生のお父さんが医者だったのでお医者さんになられました。

津波でほとんどのものを失われましたが、植田先生は大槌に様々な希望をお持ちでいらっしゃいます。たとえば、病院を大きくしたいとかです。生きるエネルギーが素晴らしく強い、素晴らしい人物です。



では、さっそくインタビューの様子を覗いてみましょう～～～!!!

(インタビュー：植田 俊郎先生 インタビュアー：ユウスケにゃん)

ユウスケにゃん(以下：ゆ)：「津波来た時、どこにいましたか。」

植田先生(以下：う)：「地震が来た時に、診療所にいた。かなり大きな地震だったので、これは津波が来るなと思って、看護師さん達と一緒に屋上に逃げた。」

ゆ：「津波が来た時、どんな様子でしたか。」

う：「診療所の3階のところまで津波が来て、屋上に居ただけけれども、海のど真ん中に見えるみたいだった。これはやばいかもと思って、山登りが趣味だから、もしものために屋上に登山用のロープを張った。」

ゆ：「津波を色に例えるなら何色ですか。」

う：「津波が来た時は、灰色って感じだったね。本当に真っ黒い壁が押し寄せてくる感じ。」

次の日の朝は、不謹慎かもしれないけど、Japan blue って感じでキレイだなって思った。」

ゆ：「津波が来た時、どう感じていましたか。」

う：「音や振動は不思議と全く入ってこなかった。そして、生きてやろうと思った。絶対に生きてやる。そう思ったね。何が何でも生きてやるってね。」

ゆ：「今回の震災でどのようなことを感じましたか。」

う：「大切なことは、次にもし、同じようなことがあった時に、情報の管理や地理的な問題、そして減災を考えること。たとえば、堤防を今回の津波の高さくらいを想定して作ったり、土地を前より高くするなど。」

ゆ：「最後に何か伝えたいメッセージはありますか。」

う：「まず、支援に感謝したい。医療に関して言えば、様々な地域で必要なもので、必要性を再確認できた。そして、ふるさとを愛する気持ちを再確認できた。僕らが食べられるのはみんなのおかげ、お互いに足りないものを補って生きていけるのが良いことだと思う。」

それから、これは植田先生が直接おっしゃったわけではありませんが、非常に心に響いたので、ここに掲載させていただきます。

「忘れたいけど、覚えておく。」



「植田先生!! 大変貴重なお話ありがとうございました〜!!!」

~~ポーポキとポーポキのお友達より~~

東日本大震災が起きてから2年…過ぎてしまえばアッという間だったというのが私の思いなのですが、被災者の方々はどのように考えているのでしょうか。

先月2月の8日から12日までの3泊5日の間、ポーポキとそのお友達は再び岩手県の大槌町に足を運んでいました。実質3日間の活動期間は私たちにとっては本当に短かったのですが、とても充実した楽しい時間となりました。そこでポーポキ通信では、今月と4月、5月の3回にわたって、今回の東北の旅がどのようなものであったかご紹介していきたいと思います。

さあ！それではまず、今月号ではその旅のおおまかな流れをサラッと見ていきましょう！！

今回、ポーポキと私たちは、私のように「東北に行くのはこれでもう何回目だろう？」というような人もいれば、「初めて！」という人も、1匹と9人の大部隊で東北へ向かいました。



そんな私たちが、8日発の夜行バスで岩手に到着し、最初に訪問したのが、岩手でいつもお世話になっているNPO団体「つどい大槌の人とまちを育む」事務局長の元持幸子さん宅。そこで、幸子さんの母親弘子さんが作ってくれたおいしいおいしい朝ご飯を頂きました。そのときに旬だったわかめは本当に絶品でした。ご飯を食べている最中、幸子さんは大槌町の現状をいろいろ話してくれました。なんでも最近の大槌町は3月までの補助金に伴う建設ラッシュだとか。その様子は、その後、町の中を車で走っていても伺うことができました。

その後、私たちはポーポキ友情物語の布を展示すべく、大槌町の大型デパート MAST へと向かいました。ここでは、大きなパネル

におよそ10枚の布を展示しました。また、ゆったり話ができるように、机と椅子を並べ、机の上には、絵が描けるように新しい布も広げておきました。そして、展示の感想を描いてもらえるように、カードとノートもあちこちにおきました。そこに書いてもらった感想はまた次回以降のポーポキ通信で紹介していきますね。9日、10日の活動はだいたいこのMASTでの展示が中心でした。たくさんのひとが布を見ていってくれましたし、中には以前に違う場所で絵を描いてくれた方が見に来てくれたりもして、ポーポキもすごく喜びました！



また、展示の合間には、以前に出会った針灸師の佐々木さんや、10月に出会い、インタビューに応じていただいた伊藤さんや東梅さんといった多くのお友達も顔を出してくれました。植田先生は何人かのお友達を車に乗せて大槌町を案内してくれましたし、10日の日には仮説商店街で小林さんが営業しているシフォンへお茶をしに行く機会もありました。だんだん大槌町にもポーポキの友達が増えてきて、なんだか嬉しいですね。

そして、11日には大槌町の郷土芸能祭に行きました。このお祭りは地元の郷土芸能保存団体連合会の設立20周年を記念して実施されたイベントで、町内の様々な地域の人たちが自分たちの地域の舞踊を舞台上で披露してくれました。震災が起こってからは踊っていなかったという人もいましたが、この日は子どもから大人まで多くの方が力強い舞を私たちにを見せてくれました。



一方で、会場に東梅さんとわざわざ私たちに会いに来てくださったヤスさんという女性の方と知り合うことができました。ヤスさんはとても元気な笑顔の似合う方で、震災が起こってからの自分の体験をいろいろ聞かせてくれました。また、その後は私たちが家にもご招待してくれて！ポーポキもヤスさんからは元気をもらいました。

このように、今回の旅では短いながらも、本当に充実した時間を過ごすことができました。こんな素敵な時間が過ごせたのも、この2年間ポーポキが大槌町に通い続けた賜物かもしれないですね。いろいろな人と仲良くして、そしてまた新しい友達も増えていく、このようにしてできた大槌町とのつながりをこれからももっと濃くしていけたらなあと思います♪

それでは、次回からはもう少しこの旅の細かいところについても報告して行きたいと思いますので、楽しみにしていて下さい☆

*** 神戸にいるポーポキの友人が3月11日に大槌町の友人たちにカードを送りました。

素敵だろうそくカバーになりました！



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 58

先月は大変でしたので、今月はやさしく首を伸ばしてみましょう。



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. さて、背筋、しっぽ、肩をまっすぐに伸ばしながら、頭を左へ。首をゆっくりストレッチ！
3. 次に、反対側へ倒してみよう。
4. 最後に、肩や頭をゆっくり後ろへ動かし、首をのばしましょう。
5. できた？では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

- 次回のポー会 4月9日 神戸YMCA 19:00-20:50
- 3.25 ポーポキ友情物語 in 東北報告会 13:00- 神戸大学国際協力研究科 201
 - 4.6 ポーポキ友情物語 at International Studies Association (アメリカ)
 - 4.20 ポーポキと考える憲法9条！ 金沢
 - 4.26 新にゃんポー会とワークショップ 19:00 神戸YMCA
 - 5.3-5 ポーポキ友情物語 in 東北？
 - 5.18 ポーポキ at ロータリー大会(広島)
 - 6.3 灘チャレンジ参加
 - 6.8 子どもの里でポーポキ！



ポーポキの友だちからのご案内

・6.15-16 第9回移動労働者と連帯する全国フォーラム・神戸 2013 甲南大学

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO：66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19（伝える1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの』（連載）とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『「ポーポキ、友情って、なに色？」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（レベッカ・ジェニスン） p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組CHの6CHをクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8（アジア女性交流・研究フォーラム）
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」 2008.10.8. 10面
- 中国新聞「核廃絶への視点」 2008. 7. 27（核抑止論について・・・。3時間！？！にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。





私にとってのポーポキ

ゆうすけにゃん

僕とポーポキは偶然の出会いから始まりました。

ある日、タローニャンとテツニャンとご飯を食べているときに、もうすでにポーポキの友達だったスザンカにゃんの一言でした…

「ゆうすけも一緒にくれば？」

この一言から、僕とポーポキが
出会いそして素晴らしいこと
が始まりました。



僕は僕なりにポーポキの友達

となる以前から平和について考えてきました。僕には一つの想いがあります。それは、「みんな笑顔になれば平和になるんじゃない!？」というものです。実際、そんなに簡単なものではありません。未だに世界には紛争、差別、恐怖、欠乏など、笑顔になれない原因が多く存在しています。2年前に日本で起こったあの震災もそうでしょう。多くの笑顔が奪われました…

しかし、実際にポーポキとポーポキのお友達と行ってみるとそこにはたくさん笑顔とその種があったのです。そのときに確信したのが、笑顔



と一口に言っても、みんな違ってどれも素晴らしいという事、「十人十色」… ひょっとしたらポーポキのしっぽが虹色なことの一つはそういうことなのかな…

ポーポキと一緒に様々なところへ出かけたり、様々な活動をすることで本当にたくさんの笑顔と出会う事ができました。そして、かけがえのない仲間に出会う事ができました。「みんな、ありがとう!!」僕はポーポキメンバーの事を家族のようだと思っています。

さて、

ポーポキ、次はみんなでどこへいこうか…?



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行します。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!